

活動報告

◆平成26年度日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会総会が開催されました！

本年度の日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会総会が7月14日(月)に開催されました。

意見交換会の中で蒲江(佐伯)側の出席者から「蒲江の人は井の中で色々主張する'井(どんぶり)ばか'であり、それぞれの立場で議論する事で素晴らしいもの(地域づくり)が出来る」との意見が出されました。

地域で頑張っておられる方との交流を深めることの大切さを改めて痛感させられた総会になりました。



村田副会長の「海道一本締め」で締めくくり

お知らせ

◆磯力(イソデカラ)で やっちょっど！

「東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2014」

7月28日(金)、東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭り2014の豊漁・安全祈願祭が、蒲江西野浦にある早吸日女(はやすひめ)神社で行われ、祭りの成功を祈りました。その後、仲川原公民館で加盟店認定証の交付式を行いました。

今年の東九州伊勢えび海道・伊勢えび祭りは、9月2日から11月30日まで行われます。

豊漁・安全祈願祭での集合写真→



東九州道建設情報



東九州自動車道「佐伯～県境」PT会議

平成18年発足以来、13回目のプロジェクトチーム会議が今年度の東九州道(佐伯～蒲江)間の開通に向け決意も新たに開催されました。各インターチェンジからの誘導について等意見交換が行われました。国、大分県、佐伯市が一体となり強力に開通へ向けてがんばります。



会議風景

東九州自動車道の工事進捗状況写真が下記URLでご覧いただけます。

佐伯～蒲江間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/saiki/higashisnchoku/higasikyuuushuu.html>

北浦～須美江間URL: <http://www.qsr.mlit.go.jp/nobeoka/douro/higasikyushu/index.html>



日本風景街道

◆ 日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)のホームページ ◆
URL: <http://nippon-kaigan.kirara.st/>

旬の情報を毎月発信中 皆様からの情報提供をお待ちしております。

問い合わせ先

日豊海岸シーニック・バイウェイ研究会

〒876-0831 大分県佐伯市大手町2丁目3番8号(佐伯市観光協会内)

tel 0972-23-1101 fax 0972-23-1146

(行政側問い合わせ先)

佐伯河川国道事務所 工務課

tel 0972-22-1880 fax 0972-23-2726

延岡河川国道事務所 調査第二課

tel 0982-31-1155 fax 0982-22-0489



みなさん、シーニック・バイウェイという言葉を知っていますか？ シーニック・バイウェイとは、アメリカが発祥で景観のよい(シーニック)、寄り道(バイウェイ)と言う意味です。日本では、風景街道と訳され、道を通して地域活性化や観光振興に取り組んでいる134のルートがあります。

本誌では、九州風景街道の一つ「日豊海岸シーニック・バイウェイ(蒲江・北浦大漁海道)」の活動や旬の地域資源等について、地域の皆さんや道路利用者の方々にご紹介するものです。＝今回は過去の50号を振り返って人気投票を行いました。＝

表紙の人気ナンバーワン



写真提供: ツール・ド・佐伯実行委員会

ツール・ド・佐伯 ハイウェイステージ ～高速道路を駆け抜けろ！～

2月10日(日)、東九州自動車道(蒲江～北浦 約14キロ)開通イベントとして、ツール・ド・佐伯 が開催されました。高速道路を自転車で走れる機会はめったにないことから約800人の参加がありました。参加者からは「高速は気持ちよかった」や「景色最高！よい経験ができた」等の声が聞かれました。(平成24年2月15日号掲載)



撮影場所: 蒲江波当津 I C

地域資源（宝）の紹介コーナー

今回このコーナーでは、過去の50号までを振り返り
ベストショット及び掲載状況について報告します。



表紙

表紙のナンバーワンに選ばれたのは11票を集めた平成24年2月15日No. 34で掲載した「ツール・ド・佐伯 ハイウェイステージ ～高速道路を駆け抜けろ！～」です。投票者からは「多くのひとが高速道路を楽しんでいる姿がよい」「参加者が楽しそう」「開通前しか出来ないことなので」「団結力を感じる」等のコメントを頂きました。カラフルなウェアが鮮やかな表紙となりました。

表紙部門で次に票を集めたのはモジャコ船の船祝いで大漁旗がたなびいている鮮やかな「海の道」と、砂紋と海の構図がすばらしい「波当津海岸砂模様」でした。

その他にも下記の写真に票が集まりました。



2位 「海の道」No.2掲載



2位 「波当津海岸砂模様」No.19掲載



「カモメと子供達」
No.12掲載



「国道388から見える下阿蘇ビーチ」No.3掲載



自然・景観資源



自然・景観資源のナンバーワンに選ばれたのは9票を集めた下記作品です。



1位 三川内の雲海

◆三川内の雲海(延岡市 陣ヶ峰展望台)

陣ヶ峰展望台は、大分県と宮崎県の県境に位置する「陣ヶ峰」の山頂にある展望台で、岩肌がむき出し勇壮なりアス式海岸を一望する展望台です。また、展望台付近からは、寒い時期の早朝など、気候により三川内方面の雲海を見ることができます。展望台へは車で行けますが道が悪いので注意してください。(平成25年2月15日号掲載)

三川内の雲海は平成23年2月10日No. 12と平成25年2月15日No. 34と平成26年2月15日No. 45に掲載しています。上記はNo. 34からの再掲載です。投票者からは「こんな絶景スポットがあることを知りませんでした」「通年では見られない光景なので」等のコメントを頂きました。自然・景観はそのときの旬な風景が掲載されることから毎年掲載される記事が多くあります。50号までに108(再掲載含む)個の記事が掲載されており投票がばらつきました。今回の投票では、通常見れない風景、自然の神秘等の下記写真に票が集まりました。



「波当津海岸の砂紋」
No.15掲載



「大間海岸さざれ石」
No.14掲載



「地下の茶山」
No.14掲載



「深島の珊瑚」
No.18掲載



「バクチの木」
No.16掲載



歴史・文化資源



歴史・文化資源のナンバーワンに選ばれたのは11票を集めた下記作品です。

◆早吸日女(はやすひめ)神社



1位 早吸日女神社の大祭

佐伯市蒲江西野浦にある早吸日女神社では、豊漁と家内安全を祈願して7月24日に大祭が開催されます。この大祭には、三基の御輿が地区を練り歩き、八人太鼓と獅子舞が演舞されます。

“八人太鼓”の名前の由来ですが、かつてNHKアナウンサーの宮田輝氏(故人)が名付けたとか？末広がり縁起がいいことから「八」にしたなどの逸話があります。なお、この「早吸日女神社八人太鼓・附獅子舞」は県指定無形民族文化財となっています。

(平成22年7月15日号掲載)

この作品は平成22年7月15日No. 17の作品です。御輿を担いで海に入る勇壮な写真が選ばれました。当時は大祭の中で御神輿が行われていたようですが近年は残念ながら御神輿は実施されていません。伝統ある行事で今回写真がナンバーワンになったのは是非再開してもらえればと思います。投票者からは「気合いの入った祭りっぽい」「神社の名前が珍しい」「御輿と共に入水している写真に衝撃を受けました」「蒲江らしさを感じる」「神輿は見ても、担いでも興奮します」「御祓いの様子が素晴らしい」等のコメントを頂きました。歴史・文化資源(自然・景観資源も同様)は人が題材になることが少なく人の動きのある写真は神楽の写真以外は珍しいものです。歴史・文化資源は皆さん選ぶのに苦労したようで投票がばらつきました。その中でも次の写真に票が集まりました。



「海の資料館」No.2掲載



「モジャコ漁」No.3掲載



「一文峠と貫」No.38掲載



「臨江庵の八十八体仏」No.42掲載

今回投票に参加して頂いた方は総勢66名でした。「表紙」「自然・景観資源」「歴史・文化資源」の3つに分けて投票してコメントも頂くことが出来ました。ありがとうございました。今後の作成に生かすように努力していきます。なかなか新しい資源の発掘にはいたらず再掲載が多くなるかと思いますがその時々のお届けできればと思います。今後ともよろしくお願い致します。

